

YIC 調理製菓専門学校長 須内章雅  
Sunouchi Akimasa

## ○ 意欲

YIC 情報ビジネス専門学校、国際ホテルブライダル科とコラボして山口高校、山口松風館高校の生徒さんを対象にしたテーブルマナー教室を本校で行いました。二回に分けて20数名ずつでの教室です。料理もサービスも好評でした。

その中でも私が特に印象深かったことがあります。受付のあたりでお迎えをしていたのですが、若い高校生に交じって高齢の高校生も来店されました。足が少し不自由な方もいらっしゃいました。私は“学習への意欲”に感動したのです。「生涯学習」ということばもありますが、意欲は年齢ではないということにあらためて気づかされた一日となりました。その方は何らかの理由で高等学校教育を受けることができなかったのでしょうか。学習ができる喜びを感じていらっしゃる“同級生”が隣にいるということは若者たちにとっても意義ある出会いでしょうね。



## ○ 県専各研修

教育入門という内容で講義をしてほしいとの依頼を受けて2日(土)に私学会館で行いました。昨年も行ったので私にとっては二回目となります。昨年の受講生はごく少人数でしたが、今年は9名(中には本校の職員も3名聴講生として参加していたのでちょっと緊張しました)です。

基本的にはお互い初めて出会う者同士ですので、まずは自己紹介です。こういった場合、できるだけ手短かに済ませて本題に入っていくというのが通常の流れだと思います。しかし私はかなり細かく自分の経歴を話しました。私は教育学などを詳しく研究してきたわけではありません。自分が経験してきたことの中から参考となりそうな事例を取りあげて話を進めていくしかありません。そのため具体的で比較的長い自己紹介となりました。そのあと参加者が一人ずつ自己紹介をしました。私のものが詳しかったからでしょうか、皆さんのものもプライベートも含まれた細かな紹介となりました。これを私は想定していなかったのですが、おかげでその後の講義も思ったよりもスムーズに進み、お互いの意見交換などのやりとりも実のある内容となりました。

“教育とは?”と問われたとき、スマホやPCで検索すれば簡単にすぐ回答が得られます。ということは私の講義は必要ないのでは?という気にもなります。研修会という対面で行うよさは意見の交流だと思います。独学よりも自分にはない発想に出会ったりして学びがより深まります。また、よい意味での競争意識も芽生えるのではないかと思います。やり取りの中で「こうして出会ったのも何かの縁…」というような発言もありましたので、私の講義内容はともかくとして、よい研修会だったなと今思っています。

## ○ 自校自賛

今回の植物 : ツバキ

今回は調達を少しサボって玄関前にある木の枝を切って生けてみました。まだ花は咲いていませんが、形がきれいだったので使ってみました。ツバキは寒い冬に花を咲かせるありがたい(?)植物です。萩市の笠山椿群生林が有名ですね。

